

人気アーティストの演奏をじっくり楽しむ、お昼前の贅沢なひととき。

— 芸劇ランチコンサート —

名曲リサイタル・サロン

Recital Salon With Masterpieces

大好評、毎偶数月開催の“清水和音の名曲ラウンジ”に続く、
新たな芸劇ランチコンサート・シリーズ“名曲リサイタル・サロン”。

東京芸術劇場コンサートホールを舞台に、今人気のソリストが登場！

朝11時から約1時間、八塩圭子のナビゲートで特別なりサイタルをお楽しみください。



©Masaaki Hiraga

第15回 2021. 11.10(水) 福間洸太郎 (ピアノ)

J.S.バッハ／ベトリ編：羊は安らかに草を食み(カンタータ「わが楽しみは元気な狩のみ」BWV208より)

J.S.バッハ／ブラームス編：左手のためのシャコンヌ

J.S.バッハ／福間洸太郎編：憐れみ給え、わが神よ(マタイ受難曲 BWV244より)

メンデルスゾーン：「無言歌集」より 甘い思い出、二重唱、春の歌 メンデルスゾーン：厳格なる変奏曲



©EIICHI IKEDA

第16回 2022. 1.12(水) 藤田真央 (ピアノ)

ショパン：ノクターン 第13番 ハ短調 op.48-1、第14番 嬰ヘ短調 op.48-2

クララ・シューマン：3つのロマンス op.21

ショパン：バラード第3番 op.47

リスト：バラード第2番 S.171 R.16



©CharlotteFielding

第17回 2022. 3.9(水) 伊藤悠貴 (チェロ)

～全歌曲集から紐解くラフマニノフ～

ラフマニノフ／伊藤悠貴編：「歌うな、美しい人よ」「春の水」

「リラの花」「私の窓辺に」「ヴォカリーズ」

ラフマニノフ／伊藤悠貴編：交響曲第2番より「アダージョ」(東京初演) ほか

福間洸太郎
(ピアノ)



©T.Shimmura

ナビゲーター：八塩圭子(全回出演)

各回11:00開演(10:30開場) 全席指定：2,400円(各回・税込)

東京芸術劇場コンサートホール

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 JR、東京メトロ、東武鉄道、西武鉄道「池袋駅」西口徒歩2分。(池袋駅地下2b出口直結)

主催：毎日新聞社 MIYAZAWA & Co. 提携：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

チケット
発売日 2021年7月28日(水)
(3公演同時発売)

チケット取扱

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(休館日を除く10:00～19:00) <http://www.geigeki.jp/t/>
チケットぴあ <http://pia.jp/>(Pコード：11月公演・200-342、1月公演・200-343、3月公演・200-344)
ローソンチケット <http://l-tike.com/>(Lコード：32044) イープラス <http://eplus.jp/>

本公演は5歳以上の方の入場が可能です。但し、お席は必要です(4歳以下入場不可)

託児サービス(有料・定員制・要事前申込)

申込・問合せ：0120-415-306
(土・日・祝祭日を除く平日9:00～17:00)

お問い合わせ

サンライズプロモーション東京
0570-00-3337(平日12:00～15:00)

公演情報は

MIYAZAWA&Co. 検索



YouTube

※新型コロナウイルス感染症に関わる政府ならびに東京都の示す方針、そのほかやむを得ぬ事情により、公演内容、客席配置等に変更や制限が生じる可能性があります。
お連れ様と離れた席にお座りいただく可能性もございます。予めご了承ください。

Tokyo Metropolitan Theatre Brunch Concert
Recital Salon With Masterpieces

各回の聴きどころ

第15回 2021.11.10(水)

福間洸太郎

福間洸太郎が待望のシリーズ初登場! 6月に発売したばかりのアルバムから、バッハ・ピアノ・トランスクリプションの名曲を披露。バッハの死後初めて『マタイ受難曲』を指揮したメンデルスゾーンの名曲とともに、敬虔な響きと深く穏やかな余韻でホールを満たします。

第16回 2022.1.12(水)

藤田真央

チャイコフスキー国際コンクール第2位受賞を機に、世界中の注目を集める藤田真央。ショパン、C.シューマン、リストのロマンチックな名曲をお届けします。その音世界の純粋無垢の美しさ、いま圧倒的人気の若き才能を心行くまでご堪能ください。

第17回 2022.3.9(水)

伊藤悠貴

チェロ界の俊英・伊藤悠貴が披露するのは、自身で全て編曲したラフマニノフ・プログラム。叙情的な歌曲も、かの有名な交響曲第2番「アダージョ」も、優美なチェロの旋律が聴く人の心に残るに違いありません。福間洸太郎との初共演にも注目です!



©T.Shimmura

福間洸太郎 (ピアノ)

Kotaro Fukuma (Piano)

パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学で学ぶ。20歳でクリーヴランド国際コンクール優勝(日本人初)およびショパン賞受賞。これまでにカーネギーホール、リンカーンセンター、ウィグモアホール、サントリーホールでリサイタル他、クリーヴランド管、イスラエル・フィル、NHK交響楽団など国内外の著名オーケストラとの共演も多数。2016年7月にはネルソン・フレイレの代役として急遽、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団定期演奏会において、トゥガン・ソヒエフの指揮でブラームスのピアノ協奏曲第2番を演奏し喝采を浴びた。CDは「バッハ・ピアノ・トランスクリプションズ」(ナクソスジャパン)など17枚をリリース。現在ベルリン在住。オフィシャル・サイト: <http://www.kotarofukuma.com>



©EICHII IKEDA

藤田真央 (ピアノ)

Mao Fujita (Piano)

2019年6月、チャイコフスキー国際コンクールで第2位を受賞。ガラ公演では、ゲルギエフ指揮マリンスキー歌劇場管弦楽団と共演し喝采を浴びた。2017年には弱冠18歳で、第27回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールで優勝。2020/2021シーズンは、ミュンヘン・フィルとの共演、ヴェルビエ音楽祭で行う《モーツァルト・プロジェクト》など海外での活躍が注目される他、国内ではNHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団などと共演。各地のリサイタルとともに、2021年春から3年にわたり行う《モーツァルト:ピアノ・ソナタ全曲演奏会》をスタートさせた。1998年東京生まれ。東京音楽大学卒業。ロームミュージックファンデーション奨学生。江副記念リクルート財団第49回奨学生。2020年、有望な若手に贈られる「第21回ホテルオークラ音楽賞」「第30回出光音楽賞」を受賞した。



©Hideki Shiozawa

伊藤悠貴 (チェロ)

Yuki Ito (Cello)

15歳で渡英。王立音楽大学在学中にブラームス国際コンクール、ウィンザー祝祭国際弦楽コンクールに優勝。第17回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。2011年名門・フィルハーモニア管弦楽団との共演でデビュー。ラフマニノフ作品、イギリス音楽をライフワークとし、その演奏と活動はV.アシュケナージ、J.ロイド＝ウェバーとの共演をはじめ、国際的に高い評価を得ている。またこれまでに国内外の主要オーケストラや日本を代表する多くの演奏家・指揮者と共演を重ね、ロンドンのウィグモア・ホール、ロイヤル・フェスティバル・ホール、パリのマリニー劇場など、欧州各地の主要ホールでのリサイタルに招かれている。また「名曲アルバム」「クラシック倶楽部」「NEWS ZERO」「恋するクラシック」などにも多数出演。使用楽器は日本ヴァイオリン所有の1734年製ゴフリヤー。



八塩圭子

(ナビゲーター)

Keiko Yashio

(Navigator)

東洋学園大学現代経営学部准教授、フリーアナウンサー、コメンテーター
上智大学卒業後、テレビ東京入社。03年からフリー。大晦日恒例の「ジルバスターコンサート」の司会を担当したことからクラシックファンに。全日空の機内オーディオでクラシックチャンネルのナビゲーターも務めていた。トップ企業との対談やイベント・コーディネートなど、活躍の場も幅広い。

2022年
上半期予定



©Satoshi Oono

第18回
2022年5月18日(水)
竹澤勇人 (ピアノ)



第19回
2022年7月27日(水)
塩谷 哲 (ピアノ)



第20回
2022年9月28日(水)
伊丹城歩生 (ピアノ)